

コンプレッサ測定用調査



現地調査を実施するに当たって、測定機材の準備をいたします。

【記録装置(1台)】



1台で2台のクランプセンサーを
接続できます

【クランプセンサー】



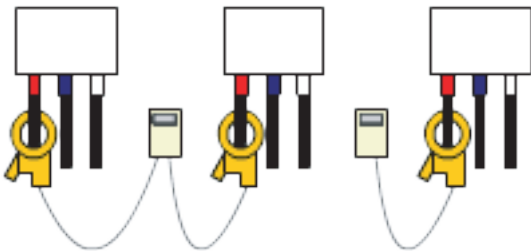
測定はブレーカーでの電流測定か、リアクトル盤でのCT電流測定を行います。

使用する測定機材は、クランプセンサーが最大2台、記録装置1台で1組になっています。

測定するコンプレッサが200・400Vの場合、個々に付いている3本の元ブレーカーの内、1本にセンサーを取り付けます。

また、測定するコンプレッサが3000V・6000Vの場合は、リアクトル盤、またはコンプレッサの電流計(CT)に測定器を1組取り付けます。

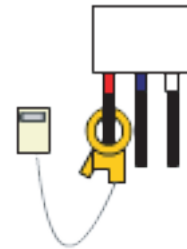
分電盤に3台のブレーカーがある場合



ブレーカー毎にクランプセンサー1台が必要。
記録装置1台につき、最大2台のクランプ
センサーが接続可能なので、この場合…

- クランプセンサー × 3台
- 記録装置 × 2台

コンプレッサ毎にブレーカーボックスがある場合



クランプセンサーのコードが1mくらいです
ので、他のブレーカーボックスが約2m以内
でしたら、上記「分電盤」の接続方法と同じ
です。

それ以上離れている場合は…

ブレーカー1台につき

- クランプセンサー × 1台
- 記録装置 × 1台